



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月8日

上場会社名 株式会社アーク 上場取引所 東  
 コード番号 7873 URL http://www.arrk.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 康夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉田 正明 TEL 06-6260-1040  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

百万円未満切捨て

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,742	△11.1	2,619	19.3	2,080	23.1	2,104	—
24年3月期第2四半期	52,583	14.4	2,195	169.9	1,690	632.0	△9,003	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,282百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 △8,625百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	19.03	2.61
24年3月期第2四半期	△134.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	88,468	21,133	21.2	△170.32
24年3月期	94,440	20,144	17.5	△205.72

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 18,753百万円 24年3月期 16,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	0.3	7,100	20.5	6,100	40.9	4,100	—	64.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）株式会社積水工機製作所  
（注）詳細は、（添付資料）4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	68,101,592株	24年3月期	68,101,592株
25年3月期2Q	4,758,626株	24年3月期	4,758,626株
25年3月期2Q	110,565,898株	24年3月期2Q	67,095,867株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。特に、子会社の売却においては、国内・海外の経済情勢が個別案件の売却交渉の進捗に影響を与え、売却の時期や金額が想定と異なることがあり、これに伴い業績が大きく変動する可能性がございます。なお、上記予想に関する事項は（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) セグメント情報等 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済において弱めの回復テンポが続いているものの、中国を含む新興国の経済は減速し、欧州においては緊縮財政や債務問題の長期化等を受けて景気が低迷する等、依然として厳しい状況が続きました。国内経済においては復興需要等により景気は引き続き底堅さが見られますが、海外経済の更なる減速や円高等、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、新たな体制として平成24年4月1日より「事業本部制」に組織再編し、2012年度をスタートさせました。当社グループが世界4極でグローバルに発展し、事業の永続的な成長を達成するためには、①企業価値の最大化、②連峰経営の負の部分の解消、③リスクを先送りにしないガバナンス体制の構築、④人材の育成が、重要な経営指針と考えており、その展開に全社を挙げて取り組んでおります。また、固定費削減及び非コア事業からの撤退等の事業再構築を進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高46,742百万円（前年同四半期比11.1%減）、営業利益2,619百万円（前年同四半期比19.3%増）、経常利益2,080百万円（前年同四半期比23.1%増）となりました。なお、タイの洪水被害に係る受取保険金として1,430百万円の特別利益を計上した一方で、事業構造改善費用として1,070百万円の特別損失を計上したこと等により、四半期純利益2,104百万円（前年同四半期は四半期純損失9,003百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結累計期間の、連結損益計算書に含まれる連結の範囲から除外された連結子会社の影響は以下のとおりであります。（下記表中の「差引」欄の各金額は、当第2四半期連結累計期間末において連結の範囲に含めております当社グループの売上高、売上総利益及び営業利益の合計額を示しております。）

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		
	連結損益 計算書	内、当第2四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引	連結損益 計算書	内、当第2四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引
売上高(百万円)	52,583	10,371	42,211	46,742	1,022	45,719
売上総利益(百万円)	9,583	1,213	8,370	9,221	85	9,136
営業利益(百万円)	2,195	151	2,044	2,619	△68	2,688

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①開発支援事業

開発支援事業におきましては、国内では、東日本大震災からの生産活動の回復に伴い、自動車をはじめとする輸送機器分野、並びに家電及びアミューズメントをはじめとする民生機器分野におきまして、受注が回復しました。また、海外では、アジアにおいては、タイの洪水に伴う生産の停滞が解消し、欧州では、自動車をはじめとする輸送機器分野における需要が堅調に推移しました。北米では、航空機内設備関連の大型受注及び新規顧客の獲得により、堅調な伸びを見せました。その結果、売上高14,851百万円（前年同四半期比20.0%減）、営業利益1,783百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間未までに連結除外した子会社の影響を除くと、売上高は前年同四半期比11.9%増、営業利益は前年同四半期比64.7%増となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		
	報告セグメント	内、当第2四半期連結累計期間未までに連結除外した子会社	差引	報告セグメント	内、当第2四半期連結累計期間未までに連結除外した子会社	差引
売上高(百万円)	18,562	5,287	13,274	14,851	—	14,851
セグメント利益(百万円)	1,717	633	1,083	1,783	—	1,783

②量産事業

量産事業におきましては、国内では、受注低迷が継続する中、利益率の改善を図るべく、さらなる固定費削減策の実施や、生産性向上活動を実施しております。一方、海外では、タイにおける民生機器関連の受注や、韓国及び欧州子会社における自動車生産量の増加に伴い、需要が堅調に推移しました。その結果、売上高20,907百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益1,129百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間未までに連結除外した子会社の影響を除くと、売上高は前年同四半期比12.1%増、営業利益は前年同四半期比5.1%減となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		
	報告セグメント	内、当第2四半期連結累計期間未までに連結除外した子会社	差引	報告セグメント	内、当第2四半期連結累計期間未までに連結除外した子会社	差引
売上高(百万円)	18,969	320	18,649	20,907	—	20,907
セグメント利益(百万円)	1,024	△165	1,190	1,129	—	1,129

③金型事業

金型事業におきましては、国内では、開発案件が少ない中、競合先との競争激化の影響を受けたものの、前連結会計年度において実施した生産体制の最適化により、収益性が回復しております。海外では、欧州自動車向け大型金型における需要が堅調に推移しました。その結果、売上高10,982百万円（前年同四半期比27.0%減）、営業利益394百万円（前年同四半期は営業損失64百万円）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間未までに連結除外した子会社の影響を除くと、売上高は前年同四半期比3.2%減、営業利益は前年同四半期比82.9%増となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		
	報告セグメント	内、当第2四半期連結累計期間未までに連結除外した子会社	差引	報告セグメント	内、当第2四半期連結累計期間未までに連結除外した子会社	差引
売上高(百万円)	15,051	4,763	10,287	10,982	1,022	9,959
セグメント利益又はセグメント損失(△)(百万円)	△64	△317	252	394	△68	462

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況に関する事項

当第2四半期連結会計年度末における総資産は88,468百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,972百万円減少致しました。これは主に、連結子会社でありました㈱積水工機製作所等の子会社6社を連結の範囲から除いたためであります。

項目別では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,786百万円減少し、53,717百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,504百万円(うち連結除外影響額2,043百万円)減少したこと、また仕掛品が1,125百万円(うち連結除外影響額599百万円)減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,185百万円減少し、34,750百万円となりました。これは主に、有形固定資産が2,323百万円(うち除外影響額4,196百万円)減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,960百万円減少し、67,334百万円となりました。これは主に、流動負債が5,319百万円(うち除外影響額4,254百万円)減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ988百万円増加し、21,133百万円となりました。これは主に、少数株主持分が1,253百万円減少したものの、四半期純利益を2,104百万円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間末と比較して1,164百万円増加し、23,004百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4,870百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期当期純利益2,425百万円、減価償却費1,372百万円、事業構造改善費用1,070百万円、仕入債務の減少額934百万円、利息の支払額644百万円、保険金の受取額1,987百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,363百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出3,509百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,446百万円となりました。これは主に短期借入金の純減少額が776百万円、長期借入金の純減少額429百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月18日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において当社の連結子会社でありました(株)積水工機製作所は株式譲渡により連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,511	23,707
受取手形及び売掛金	23,468	20,963
有価証券	825	0
商品及び製品	1,000	862
仕掛品	4,625	3,500
原材料及び貯蔵品	1,730	1,750
繰延税金資産	140	297
その他	3,446	2,865
貸倒引当金	△243	△230
流動資産合計	57,504	53,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,450	16,849
減価償却累計額	△11,484	△9,668
建物及び構築物(純額)	7,965	7,180
機械装置及び運搬具	27,976	22,060
減価償却累計額	△21,434	△15,692
機械装置及び運搬具(純額)	6,542	6,368
工具、器具及び備品	11,030	11,127
減価償却累計額	△8,410	△8,101
工具、器具及び備品(純額)	2,620	3,026
土地	7,767	5,051
建設仮勘定	520	1,465
有形固定資産合計	25,415	23,091
無形固定資産		
のれん	2,179	2,253
その他	558	505
無形固定資産合計	2,737	2,758
投資その他の資産		
投資有価証券	5,460	5,948
長期貸付金	1,461	1,432
繰延税金資産	110	97
その他	2,663	2,236
貸倒引当金	△913	△814
投資その他の資産合計	8,782	8,900
固定資産合計	36,935	34,750
資産合計	94,440	88,468

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,162	9,770
短期借入金	6,932	4,974
1年内返済予定の長期借入金	1,726	1,124
リース債務	191	113
未払金	1,661	1,384
未払法人税等	419	342
未払費用	1,460	1,374
繰延税金負債	56	3
賞与引当金	561	623
その他の引当金	149	99
その他	5,451	5,644
流動負債合計	30,775	25,455
固定負債		
社債	90	75
長期借入金	32,730	31,840
リース債務	363	271
繰延税金負債	7,767	7,252
再評価に係る繰延税金負債	14	14
退職給付引当金	2,143	2,149
役員退職慰労引当金	109	102
その他の引当金	28	19
その他	272	155
固定負債合計	43,520	41,879
負債合計	74,295	67,334
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,171	12,171
資本剰余金	15,980	15,980
利益剰余金	△4,388	△2,171
自己株式	△24	△24
株主資本合計	23,739	25,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△8
土地再評価差額金	△162	△162
為替換算調整勘定	△7,067	△7,032
その他の包括利益累計額合計	△7,228	△7,203
少数株主持分	3,633	2,379
純資産合計	20,144	21,133
負債純資産合計	94,440	88,468



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	52,583	46,742
売上原価	43,000	37,520
売上総利益	9,583	9,221
販売費及び一般管理費	7,387	6,602
営業利益	2,195	2,619
営業外収益		
受取利息	58	80
為替差益	121	—
持分法による投資利益	87	152
その他	363	327
営業外収益合計	631	560
営業外費用		
支払利息	818	653
為替差損	—	247
その他	319	198
営業外費用合計	1,137	1,099
経常利益	1,690	2,080
特別利益		
固定資産売却益	66	326
受取保険金	—	1,431
投資有価証券売却益	259	24
関係会社株式売却益	—	68
その他	367	8
特別利益合計	694	1,859
特別損失		
固定資産除売却損	20	26
事業構造改善費用	3,824	1,070
投資有価証券評価損	—	196
災害による損失	—	178
減損損失	369	15
その他	65	27
特別損失合計	4,279	1,515
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,895	2,425
法人税、住民税及び事業税	212	398
法人税等調整額	7,106	△248
法人税等合計	7,319	149
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△9,214	2,275
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△211	171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,003	2,104

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△9,214	2,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△23
繰延ヘッジ損益	△4	—
為替換算調整勘定	427	△330
持分法適用会社に対する持分相当額	149	360
その他の包括利益合計	589	7
四半期包括利益	△8,625	2,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,392	2,129
少数株主に係る四半期包括利益	△233	153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,895	2,425
減価償却費	1,962	1,372
のれん償却額	92	83
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△110	79
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△118	△69
受取保険金	—	△1,431
災害損失	—	178
賞与引当金の増減額(△は減少)	38	148
固定資産除売却損益(△は益)	△45	△300
事業構造改善費用	3,824	1,070
減損損失	369	15
受取利息及び受取配当金	△84	△87
支払利息	818	653
売上債権の増減額(△は増加)	△46	238
たな卸資産の増減額(△は増加)	△827	554
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,195	△934
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△828	△282
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△3	△28
その他の流動負債の増減額(△は減少)	535	368
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△113	△87
その他	△1,332	△162
小計	1,038	3,804
利息及び配当金の受取額	136	159
利息の支払額	△636	△644
法人税等の支払額	△370	△471
法人税等の還付額	159	33
保険金の受取額	—	1,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	326	4,870
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△192	△343
定期預金の払戻による収入	891	120
投資有価証券の取得による支出	△4	△925
投資有価証券の売却による収入	52	117
関係会社株式の売却による収入	—	883
有形固定資産の取得による支出	△1,304	△3,509
有形固定資産の売却による収入	109	882
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△555	△406
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	37
過年度関係会社株式売却代金の回収による収入	70	139
短期貸付金の増減額(△は増加)	6	18
長期貸付けによる支出	△26	△12
長期貸付金の回収による収入	224	1

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
その他	125	△366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△601	△3,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△779	△776
長期借入れによる収入	43	740
長期借入金の返済による支出	△1,766	△1,169
社債の償還による支出	△55	△15
株式の発行による収入	9,000	—
少数株主への配当金の支払額	△26	△110
その他	△156	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,259	△1,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	157	△76
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,141	△15
現金及び現金同等物の期首残高	15,697	22,856
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	163
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,839	23,004

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	開発支援事業	量産事業	金型事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,562	18,969	15,051	52,583	—	52,583
セグメント間の内部売上高又は振替高	196	974	166	1,337	△1,337	—
計	18,759	19,943	15,217	53,920	△1,337	52,583
セグメント利益又は損失(△)	1,717	1,024	△64	2,677	△482	2,195

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△482百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△431百万円、セグメント間取引消去による発生額△50百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

	開発支援事業	量産事業	金型事業	調整額	合計
減損損失	—	—	369	—	369

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	開発支援事業	量産事業	金型事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,851	20,907	10,982	46,742	—	46,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	125	1,134	177	1,437	△1,437	—
計	14,977	22,042	11,159	48,179	△1,437	46,742
セグメント利益	1,783	1,129	394	3,306	△687	2,619

(注) 1. セグメント利益の調整額△687百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△635百万円、セグメント間取引消去による発生額△51百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

	開発支援事業	量産事業	金型事業	調整額	合計
減損損失	—	15	—	—	15

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは組織変更を契機に、業績管理区の見直しを行っております。これにより、報告セグメントを従来の「開発支援事業」及び「金型支援事業」の2区分から、「開発支援事業」、「量産事業」及び「金型事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。